

令和8年度 菁園地区の小中一貫教育 グランドデザイン

(菁園中学校・花園小学校)

目指す子ども像「ふるさと小樽を愛し、自他を思いやり夢の実現に向かう子」

小中9年間の教育目標 「明日を創る力を育む」

「児童の実態」

- ・学習、運動、児童会活動に意欲的
- ・学力の多極化
- ・自己肯定感・コミュニケーション力・困難に立ち向かう力の育成が課題

「9年間で目指す子ども像」

- ◆自分で考え問題解決のため学びに向かう子
- ◆自他を思いやり、よりよい学校をつくらうとする子
- ◆目標を持ち、運動や体力向上に取り組むたくましい子

「保護者・地域の願い」

- ・学力の向上
- ・豊かな人間性と社会性を育む学校
- ・通いたくなる学校
- ・地域と共にある学校
- ・相談しやすい学校
- ・安全安心な学校

令和8年度 小中一貫教育の重点

「4つの力を養うための経験値を高める場の設定」

4つの力

協働力

反応力

対話力

設計力

「つくる」

互いを尊重しながら力を合わせ、目標に向かって取り組む子

- S1: 自分の考えを持ち、より良い考えを見つけようとするができる
- S2: 他者との関わりから、新たな発見や目標を見つけることができる
- S3: 自分や集団の役割に責任を持ち、協力して取り組むことができる

「うごく」

状況をとらえ、よりよい方向や解決を目指して行動する子

- S4: 人の話や説明を理解し、自分なりの考えを持つことができる
- S5: 対応策を考え、実行する子ができる
- S6: 周りの状況を的確に判断し、自ら行動できる

12の
SKILL

「つたえる」

自分の考えを発信し、建設的な話し合いを進める子

- S7: 人の話を正しい態度で聞くことができる
- S8: 自分の考えや気持ちを相手にわかりやすく伝えることができる
- S9: 他者の考えを受け入れ、新たな発見や目標を見つけることができる

「みとおす」

ゴールを定め、見通して計画し調整できる子

- S10: 計画的な家庭学習ができる
- S11: 結果を見通し、課程を考えることができる
- S12: 自分でより良い選択ができる

教職員の「3つのACTION」

- A1: 研究する～「児童生徒が学びたくなる授業と教育活動」
- A2: 指導する～「児童生徒に寄り添い、導き気づかせる指導」
- A3: 場をつくる～「児童生徒の経験値を高める場の設定」

小中一貫教育推進の具体

教育課程部会

(教務部・総務管理部担当)

【主な活動内容】

- ① 9年間の教育課程の編成
- ② 体験授業の実施
 - ・小5・6年の教科担任と連携
- ③ 「4つの力」の達成状況の分析
- ④ 年間行事予定の調整
 - ・総合的な学習の時間
 - ・旅行的行事の内容
 - ・新入生体験入学との連携
- ⑤ キャリアパスポート、学びの保障、ICTの有効活用
- ⑥ 効果的・効率的な業務の推進や事務管理の連携

学力向上部会

(研究部担当)

【主な活動内容】

- ① 算数・数学科での連携
 - ・授業づくりやICTに関する研究
 - ・ノート指導の共通化
 - ・算数数学の9年間の教育課程(CAN-DOリスト)
- ② 全国学力・学習状況調査の分析
- ③ 保護者啓発の共通指導
 - ・家庭学習強化期間の実施
 - ・スクリーンタイムの適正化
- ④ 公開研究会の相互参加
- ⑤ 児童生徒アンケートの共通項目
- ⑥ 作品・図書紹介の巡回展示

生徒指導部会

(生徒指導部担当)

【主な活動内容】

- ① 生徒指導の状況交流
 - ・学級、学年経営、児童生徒の実態交流
 - ・長期休業中のきまり
- ② 不登校児童生徒の状況
 - ・欠席状況や支援・対応に関する情報共有と連携
 - ・ICTを活用した支援
- ③ いじめ未然防止の取組
- ④ 「はつと」等の実施・分析
- ⑤ 児童会・生徒会の交流
 - ・潮ねりこみ・いじめ防止サミット
 - ・合同避難訓練の実施